

東和作戦会議会報 No. 28

2021年 10月27日発行

一般社団法人東和作戦会議広報担当

椿油プロジェクト

—めざせ！東和の椿油商品化—

10月17日(日)午前10時から12時まで
東和作戦会議のメンバー他10人が、椿の実の
採取作業を行いました。

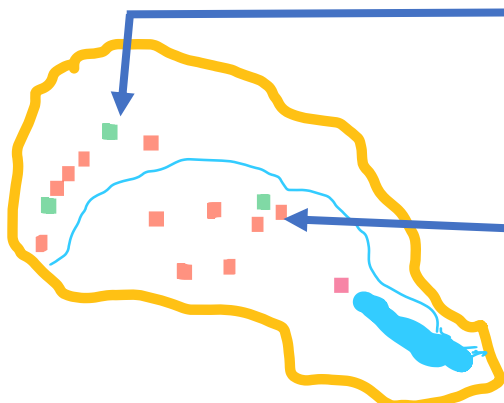
10時から高橋典人さん(やなのうえプロジェ
クト)で採取開始。

およそ1時間30分で
5.3 kgの椿の実を採取
しました。

この後、天日で乾燥
し、実からこぼれ出た

種を採って、11月に陸前高田の石川製油所に持参。製油所の見
学を行う予定です。

実の採取作業の後、谷内の菊池サコさん宅の樹齢100年超えの
椿と南川目の小田拓美さん宅の樹齢200年越えで、当時「北限
の椿」と言われたという椿を見に行きました。小田さんの幼少期
には、椿油を自宅で精製していたとのこと。今年は開花が早く、
受粉期に鳥が渡ってこなかったため、実が実らなかったのではないかと
いう小田さん。来年はこの樹齢200年の椿の下でお花見をしようとい
う声もありました。今年は、春先の霜や受粉期のアクシデントで実
がつかなかったため収穫量は少量でしたが、花芽がたくさんついで
いたので、来年は期待できそうです。



今年の調査で確認した「椿植栽分布図」
赤は実の採取ができなかった箇所



谷内の菊池サコさん宅の
樹齢100年超えの椿



南川目小田拓美さん宅の
樹齢200年超えの椿



花巻市生涯学習事業 東和おとな大学 第6回講座 リモートまち歩き

2021年10月22日(金)9:30~11:00
東和総合支所第1会議室と土沢商店街
を結んでリモート通信体験。

花巻市が行っている生涯学習事業「東和おとな大学」第6回講座は、リモート通信体験をテーマに行われました。この講座の企画を請け負ったのが当東和作戦会議。2年にわたるコロナ感染症の影響で元気をなくしている商店街に活気を取り戻そうと商店街の老舗三店舗をリモートで紹介する企画を提案しました。



この日のおとな大学の受講者は20人。「リモートまち歩き」に先立ち、遠野山・里・暮らしネットワークの田村隆雅さんからリモート通信について簡単な解説をしていただきスタートしました。訪れた老舗は、今年創業100周年を迎える総合衣料センター「ヒラエン」。最近店内改装した「猿舘酒店」。土沢城下の古地図を所有している雑穀の店「くはど商店」の三店舗です。



猿舘酒店

店内中央に据えられたテーブルは造り酒屋当時に使用していた「ふね」を加工したもの。立ち飲みにも利用できるようなアイデアを考えている猿舘祐子さんです。偶然にも、配信中に今年初出荷のエーデルワインが入荷、配達に来た社員の方も飛び入り出演。



商店は間口が狭く奥に長いのが特徴ですが、なかなか奥まで拝見する機会がない、ということで、猿舘酒店の奥深くまで入り込ませていただきました。



「リモートまち歩き」を楽しむ受講者の皆さん。「難しい内容だったらどうしようと思ってきましたが、とても楽しく学べました」「商店の新たな表情が見られました」「ほかのお店も紹介してほしい」「またやってほしい」など高評価をいただきました。

この日のオールスタッフ

東和作戦会議のメンバーに加え、指導に当たってくださった遠野山・里・暮らしネットワークの田村さん。応援団として千田さん、地域おこし協力隊の坊迫さん、内田さん。そして講座担当の山影さんです。



ヒラエン

ヒラエン店主栗生沢源三さんはスコップ三味線の奏者です。この日も一曲ご披露いただきました。今年11月に予定していた創業100周年記念イベントはコロナの影響で中止となりましたが、リモート通信が良い記念になりました。



くはど商店

くはど商店が、大黒屋と呼ばれていた当時、浄珠院の開基に携わったという歴史があります。今は雑穀を扱っていますが提灯のお店だった時期もあり、当時を物語る古地図を所有しています。「経営するうえではいろいろありましたが、今は幸せです」と奥さまの小原幸子さん。